



桂徳だより評価号②

京都市立桂徳小学校
校長 富田 博二



ご協力ありがとうございました

保護者の皆様には、桂徳わくわくアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。今回も、多くの保護者の方から、お子たちの様子についてご回答いただいています。保護者の皆様の本校教育への関心の高さによるものと受け止めており、大変ありがたく存じます。本校の良い点・課題となっている点についての考察を加え、お伝えさせていただきます。前回との比較がわかりやすいよう重ねて表示しています。



令和6年度 桂徳わくわくアンケート② 結果

質問	低学年				高学年			
	■あてはまる	■大体あてはまる	■あまりあてはまらない	■あてはまらない	■あてはまる	■大体あてはまる	■あまりあてはまらない	■あてはまらない
学校が楽しく、わくわく登校している	90.2%	9.8%	0%	0%	88.4%	11.6%	0%	0%
自分から気持ちよいあいさつをしている	85.0%	15.0%	0%	0%	80.0%	20.0%	0%	0%
友達といると楽しい	85.0%	15.0%	0%	0%	80.0%	20.0%	0%	0%
学校の約束やルールを守っている	90.2%	9.8%	0%	0%	88.4%	11.6%	0%	0%
友達や先生の話をしっかり聞いている	85.0%	15.0%	0%	0%	80.0%	20.0%	0%	0%
やる気をもって授業を受けている	85.0%	15.0%	0%	0%	80.0%	20.0%	0%	0%
学習がわかったり、できることが増えたりすると楽しい	85.0%	15.0%	0%	0%	80.0%	20.0%	0%	0%
学校の用意をしっかりできている	85.0%	15.0%	0%	0%	80.0%	20.0%	0%	0%
家でも自分から学習をしている	85.0%	15.0%	0%	0%	80.0%	20.0%	0%	0%
学校で困ったことがあったら先生に相談している	85.0%	15.0%	0%	0%	80.0%	20.0%	0%	0%
お家の人に学校のことをよく話している	85.0%	15.0%	0%	0%	80.0%	20.0%	0%	0%
自分も周りの人も大切にしている	85.0%	15.0%	0%	0%	80.0%	20.0%	0%	0%
「早寝早起き朝ごはん」など規則正しい生活をしている	85.0%	15.0%	0%	0%	80.0%	20.0%	0%	0%

1. 『学校が楽しく、わくわく登校している』

低学年は「よくできている」・「大体できている」と答えている子が90.2%、高学年では88.4%います。

第1回の時よりも低学年（2.4pt）・高学年（5.2pt）ともに数値が上昇しています。キラリ目標や日々の学校生活で楽しんでいる子が多いことをうれしく思います。全員が学校を楽しく感じるできるよう取り組んでいきたいと思っています。

2. 『学校の約束やルールを守っている』

『自分も周りの人も大切にしている』

低学年、高学年ともに肯定的な回答が増えています。ルールを守るとはみんなが気持ちよく過ごすためということを道徳の授業や学級活動の中で話しています。ポイントの上昇率も低学年では3pt、高学年では1ptと相関性が現れていました。今後も子どもたちが自分も周りも大切にできるよう指導していきたいと思っています。

学校教育目標

やりたいことを見つけ、夢中になって取り組む子
～毎日わくわく、みんなが行きたい桂徳小～

質問	保護者				
	■ あてはまる	■ 大体あてはまる	■ わからない	■ あまりあてはまらない	■ あてはまらない
お子さんは学校生活を楽しんでいる					
お子さんは自分からあいさつをしている					
お子さんは友達といることを楽しんでいる					
お子さんは学校や学級のルールを守っている					
お子さんは友達や先生の話をしっかり聞いている					
お子さんはやる気をもって授業を受けている					
お子さんは学習がわかったり、できることが増えたりすることを楽しんでいる					
お子さんは学校の用意をしっかりできている					
お子さんは家でも自分から学習している					
お子さんは困ったことがあったら先生に相談している					
お子さんは家で学校での様子を話している					
お子さんは自身も周りの人も大切にしている					
お子さんは「早寝早起き朝ごはん」など規則正しく生活している					
保護者として、学校が身近な存在と感じる					

3. 『やる気をもって授業を受けている。』

肯定的な回答は低学年では、微増。高学年では3.6ptの上昇が見られました。また、高学年では家庭学習や教師との相談の項目でも同程度の上昇が見られ、学習への主体性が現れています。子どもたちの主体性をさらに高められるよう授業改善を継続していきたいと思えます。

4. 『自分から気持ちよいあいさつをしている』

低学年・高学年ともに肯定的なポイントが下降しました。校内での子どもたちの様子は1学期に比べ気持ちのよい挨拶をしている児童が増えていることを教員一同実感しています。また、保護者アンケートの結果でも肯定的な回答が上昇しています。しかし、低学年では-7.1pt、高学年では-2.9ptという結果が出ています。「あいさつ名人」という取り組みを2学期に実施していることにより子どもたちにとって満足のいく基準に達しなかったと感じた児童が増えたということだと思います。できていることをたくさん褒め今後も挨拶を大切にしていきたいと思えます。